

目指せ！すだちマイスター！

松田ゼミ　すだちーむ

「かぼす」と「すだち」の違い分かりますか？神山町ですだちを研究し、私たちはそのとりこになりました。すだちを知り、食べ、その魅力をだれかに伝えること。それが神山町と繋がり応援する第一歩です。あなたもすだちマイスターになって神山町のサポーターになろう！

昭和３０年
合併で神山町が誕生。



昭和３２年
新農村建設計画の基幹作物として「すだち」が選ばれる。



昭和４０年代
冷蔵貯蔵やハウス栽培に着手。計画的な出荷ができるようになる。
高級嗜好品として需要が伸びる



昭和５６年
徳島県に大寒波が襲い、温州ミカンは壊滅的な打撃を受けた。
これを機に寒さに強いすだちの栽培が県内一円に広がる



平成２年
神山町のすだち生産量が2,000トンを超える



なぜ徳島県ですだち栽培が盛んなの？

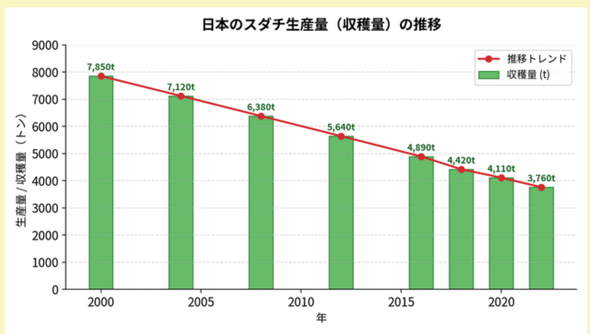
〇すだちの国内生産量の約98%を徳島県が占める！

徳島県、とくに神山町では、狭く不整形で傾斜のある農地が多く、大型機械の導入が難しい。
そこで、機械に頼りすぎず、限られた農地でも栽培できる作物が求められた。
その条件に合ったのが、すだちだった！

〇すだち農業が直面する課題

生産量は約20年で半減！
- 2000年：7,850トン
- 2020年：3,760トン

さらに、神山町の人口も減少。
- 1965年：16,795人
- 2020年：5,097人



https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokusan_kazyu/

〇農業を取り巻く4つの課題
- 担い手の減少：人口減少による農家数の減少
- 後継者不足：すだち農業を次世代につなぐ人が足りない
- 収穫の負担：手作業が中心で、鋭いトゲにも注意が必要
- 気候変動の影響：夏の猛暑による農作業の負担増加

生産量が減少する一方、すだちへの需要は続いている。
だからこそ、産地を未来につなぐためには、農業を支える新たな担い手や仕組みが必要だ。
すだちワーキングホリデーで、農家と地域を支える！
農作業の手伝いを通じて人手不足を補い、農家と参加者の交流を生み出す。
農家の負担を減らし、地域とのつながりを育むことで、農家の幸福度向上と持続可能なすだち農業を目指す！

すだちの食の魅力ってなに？



① 味！
爽やかな香りとキリッとした酸味

② 活用方法！
しぼる：焼き魚・刺身・焼肉
すりおろす：すだち塩・麺類の薬味
スライスする：すだち蕎麦・カルパッチョ・ドリンク

③ 商品展開！
飲料：すだち酒・すだちワイン
調味料：すだちぽんず・すだち酢
加工食品：すだち麺・すだちパウダー



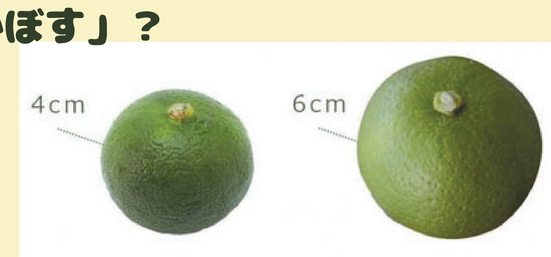


④ すだちの可能性！
フランスへの輸出にも注目！？

和食から洋食まで、幅広い食シーンで活躍する果実！

すだちマイスタークイズ

Q1. 神山町は徳島県のどのあたりにある？
A. 山間部 B. 海岸沿い
Q2. 神山町の人口は減少している。〇か× か？
Q3. すだちの花は黄色である。〇か× か？
Q4. すだち生産量1位はどこ？　A. 神山町？ B. 徳島市？
Q5. 昭和56年（1981年）の大寒波で、大きな被害を受けたのは?
A. 温州みかん B. すだち
Q6. すだちを使ったワインがある。〇か× か？
Q7. 徳島県は、全国のすだち出荷量の何%を占めている？
A. 約56% B. 約98%
Q8. すだちの収穫方法はどっち？
A. 主に手作業　B. 主に機械
Q9. 神山町では、すだちの収穫期に農作業を手伝う「すだちワーキングホリデー」に参加できる。〇か× か？
Q10. どっちが「すだち」？ 「かぼす」？



Q11. すだちは和食にしか使われない。〇か× か？
Q12. 神山町ですだちの栽培が始まったのはいつごろ？
A. 昭和31年（1957年）ごろ　B. 平成19年（2007年）ごろ
Q13. すだちを使った麺（めん）がある。〇か× か？
Q14. すだちは果汁だけを使い、皮は使わない。〇か× か？
Q15. すだちは、果皮が濃い緑色の時期に収穫される。〇か× か?

Q1.A/Q2.〇/Q3.×/Q4.A/Q5.A/Q6.〇/Q7.B/Q8.A/Q9.〇/Q10.A/Q11.×/Q12.A/Q13.〇/Q14.×/Q15.〇

まとめ

すだちマイスターとは？：すだちを知り、食べ、その魅力を人に伝える人。それが、私たちの考える「すだちマイスター」です。
すだちから神山町へ！：神山町では、すだちの収穫期における人手不足が課題となっています。すだちワーキングホリデーなどの農業体験は、農家でなくても生産現場に関わり、
産地を支える方法の一つです。また、体験をきっかけに神山町を訪れる人もいます。
すだちの魅力を知り、味わい、周りの人に伝えること。そして、すだちを育てる人や産地に関心を持つこと。
そうした小さな行動が、神山町とのつながりを生み、関係人口の拡大につながる可能性があります。

あなたも、すだちマイスターになって神山町を応援しよう！

参考文献
https://www.ito-noen.com/dictionary/tips/1813/?srsltid=AYCX9vLMeDerTbsRZ9PwMJEK9vkjTvNuyQ5rpHuYRnEBsY3Ffd4MidPA
https://sudachikun.jp/
https://www.ito-noen.com/dictionary/tips/2599/
https://delishkitchen.tv/articles/2870
https://lab.smout.jp/archives/tokushima/kamiyama-cho/tsunapro.html
https://ja-tokushimaken.or.jp/pages/203/%20
https://news.tv-asahi.co.jp/news_society/articles/000040198.html%20
https://www.tabechoku.com/products/3103247srsltid=AYCX9vLJqn--jJapWSktrO9emxk8YMmvM_0s2L_PX5vo9NtKAy_nbK8s
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokusan_kazyu/
https://sanmikouan.jp
https://arunet-awa.com